

義肢装具士: _____ 会社: _____

顧客番号: _____ 日付: _____

患者の個人データは、注文処理と統計学的評価のために保管・使用されますのでご了承ください。装具の荷重容量の計算は、ここに記入されたデータに関連付けて行われます。このデータは、装具を利用しているうちに変化することがあります。この装具療法シートに記入する際は、今後考えられる変化を考慮に入れてください(例:体重変化、筋肉強度の成長や変化)。

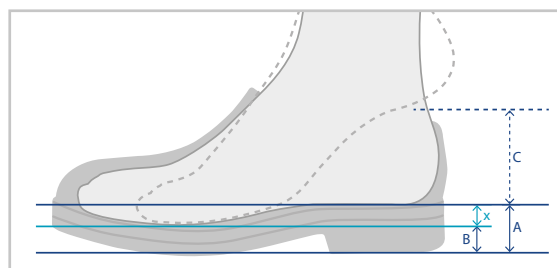
患者データ

患者氏名	生まれた年	体重	脚
		kg	左脚
			右脚
データプライバシーの目的のため、下の名の最初の2文字と、名字の最初の2文字のみを記入してください。	性別	身長	左右の足で以下の点が異なっている場合は、装具療法シートを2枚使用してください。
	女性 男性	cm	

疾患と障害

一般用装具療法シートは、ダウンロードセクションで専用の装具療法シートがない疾患や障害の場合に限り、使用してください。

靴の測定



靴のサイズ (EU式)

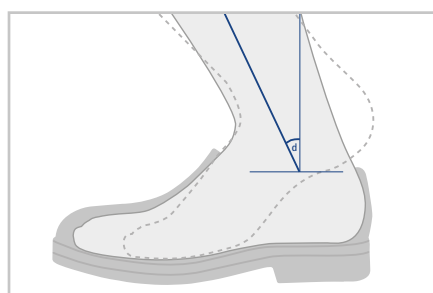
高さ補償 (C) _____ mm

踵高さ (A) _____ mm

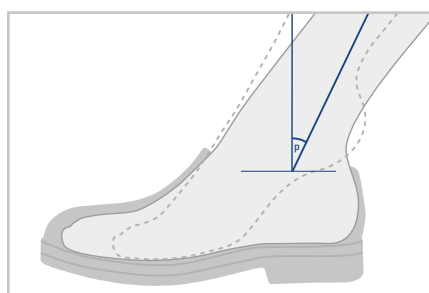
靴底厚さ (B) _____ mm

踵と爪先の高低差 (x = A - B) _____ mm

上側足関節の運動範囲

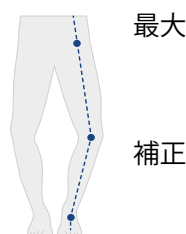


背側



底側

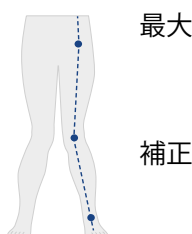
内反変形



最大

補正

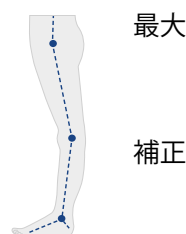
外反変形



最大

補正

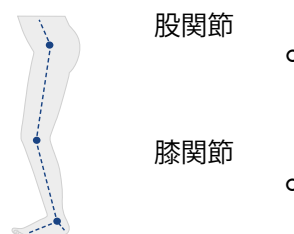
過伸展



最大

補正

伸展の制限



股関節

膝関節

筋肉強度 (Jandalによる)

股関節屈曲		股関節伸展	0 (ゼロ) – 完全まひ、収縮の徴候なし
0 1 2 3 4 5		0 1 2 3 4 5	1 (わずか) – 若干収縮するが、関節は動かない
膝関節伸展		膝関節屈曲	2 (不良) – 重力がかからない状態で完全な運動範囲
0 1 2 3 4 5		0 1 2 3 4 5	3 (可) – 重力に対抗して完全な運動範囲
背屈		底屈	4 (良) – ある程度の抵抗と重力に対抗して、完全な運動範囲
0 1 2 3 4 5	0 1 2 3 4 5	5 (正常) – フル強度の抵抗と重力に対抗して、完全な運動範囲	

活動レベル



1. 屋内歩行

患者は、装具を使って、平らなところをゆっくり移動することができるか、または移動できるようになる可能性がある。身体的な障害により、ごく短距離・短時間の歩行が可能である。



2. ある程度の屋外歩行

患者は、装具を使って、ゆっくりした速度で歩いて移動することができるか、または移動できるようになる可能性があり、縁石や段差、凹凸のあるところなど、小さな環境障害物に対処することができる。



3. 無制限の屋外歩行

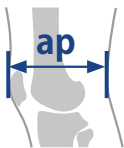
患者は、普通～早足の速度で、および変化する速度で、歩いて移動することができるか、または移動できるようになる可能性があり、ほとんどの環境障害物に対処することができる。さらに、患者は自然環境を歩くことができ、装具に対する平均以上の機械的荷重をかけない程度の、職業的活動や治療的活動、その他の活動を行うことができる。



4. 特に高強度の無制限屋外歩行

患者は、装具を使って、無制限の屋外歩行で移動することができるか、または移動できるようになる可能性がある。さらに、機能要求が高いことから、装具に対して高い衝撃荷重、張力、変形力が生じる可能性がある。主にアスリートと子供が該当する。

ap測定値 (KAFOまたはKOの膝の機械的旋回点)



mm

装具データ

製造技法

関節ラミネート/ プリプレグ技法

装具をラミネートします。システムアンカーとシステムあぶみはこのラミネートに一体化されます。システム関節もラミネートに一体化されます。

アンカーラミネート/ プリプレグ技法

装具をラミネートします。システムアンカーとシステムあぶみはこのラミネートに一体化されます。システム関節はシステムアンカーにねじ止めされ接着されます。

高強度軽量技法

装具は、接着・リベット接合されたサイドバーとバンドから製造されます。システム関節はサイドバーにねじ止めされ接着されます。

患者との面談中のメモ (例えば以前の治療など)
